「常総ふれあいの杜」広報誌　No.10　2011年　冬号（季刊）

ふれあい通信

社会福祉法人
日本キングス・ガーデン

常総広域障害者支援施設
『常総ふれあいの杜』
常総市大生郷町1880番地
Tel　0297−27−5016
Fax　0297−27−5045
www.kings-garden.or.jp
発行責任者　藤原裕也
編集員　広報委員会

「素敵な写真」

施設長　藤原　裕也

　秋からのスプリンクラー工事に続き、崖の補修工事が完成しました。広場の畑も、大きくしていただけました。早速、活動班でスコップと鍬を持ち一生懸命に耕している姿が、見られます。関係者の皆さまのご理解とご協力により、無事に終わることが出来、またご利用者の安全をよりいっそう図れたことは、本当に感謝です。ありがとうございました。

　さて、季節ごとに発行の広報誌も、十号となりました。毎号のスナップフォトの、たくさんの写真。ご利用者の笑顔、よりそう職員の姿に改めて感動しています。画面に写らないカメラマンの職員も同じ気持ちです。心に寄り添う親友同士でありたい。そんな思いの、みんな素敵な笑顔です。

　「ふれあいの杜」は開設以来安心な『生』、充実した『活』を目標にしてきました。生かされていること、そして活かされること。生活、それはつまり、ご利用者の笑顔のためだということに、いつも心をとめていきたいと、願っています。

スナップフォト

World Wide Yakult
Yakult
ビーエフワン
BF-1
見学記念
Yakult
平成22年
12月8日

クリスマス会

　十二月二十三日、フランクフルト君とひよこさん（？）の司会によりクリスマス会が始まりました。皆さんの鈴の音に誘われて、恒例のサンタとトナカイも来て大変盛り上がりました。また、竹田牧師と施設長の演奏に合わせ、歌ったり踊ったり、ご利用者同士で肩を組む姿も見受けられました。いつか、ご利用者全員で、肩を組める日がくるといいなあと思いました。最後は、二〇一〇年の締めくくりとして、一年間の皆さんの写真やビデオ鑑賞です。大きなスクリーンには、一人ひとりの、頑張つている姿や楽しい一時を過ごしている姿が映り、この一年を振り返ることができました。クリスマス会が終わると、ユニットに戻り、待ちに待ったサンタからのプレゼントです。プレゼントを貰い、わくわくしながら開けているご利用者、ボランティアの方々が作って下さったケーキを美味しそうに召し上がっているご利用者。笑顔でいっぱいの一日でした。またサンタが来てくれる日をご利用者と一緒に楽しみに待つています。

（飯塚）

※ボランティアに感謝します。　喫茶／井出幸枝様、片庭百子様、須田晶子様、中山小夜子様、安田春江様　音楽／山田国昭様

ピザ作り

十一月三日のユニットタイムで手作りピザを作り楽しみました。強力粉にイースト菌を入れ、こねて、叩いて、丸めて…と書くと簡単な様ですが、皆さん悪戦苦闘していました。発酵後、生地を丸く伸ばし、コーン、ベーコン、ツナなど好みの具をトッピングしオリジナルのピザの出来上がり。後は、焼くだけ。オーブンからチーズの香ばしい香りがただよい、さーて出来上がり。火傷をしないように、上手に熱々のピザを頬張るご利用者には笑顔いっぱい、大満足の様子でした。

余談ですが、生地作りで右腕が筋肉痛になり数日痛みました（笑）（納富）

柏の葉キャンパス外出

一月十五日（土）、ご利用者五名で柏の葉キャンパス駅にあるららぽーとに行きました。和食バイキングレストラン「八菜」に入りました。沢山の種類の料理があり、それぞれ好きな物をお皿に盛り楽しそうに召し上がられていました。しかも、「限定三十名様。にぎり寿司三貫!!」というタイムサービスにも並び、みんな新鮮なお寿司も食べ大満足のご様子でした。食後は館内を散策し、思い思いの買物をしました。また、帰り際に二階フロアでミニライブをやっており素敵な音楽を聴くこともできました。（山口）

餅つき大会

一月十日に多目的ホールで餅つき大会を行ないました。ご利用者の皆さんに、順番にお餅をついていただき、美味しいお餅が出来ました。一個のお餅が出来上がると、次のお餅が運ばれてくるのを皆さん楽しみに待っていらっしゃいました。出来上がったお餅は特養や軽費にも運ばれ、ふれあいの杜では昼食にご利用者の皆さんで美味しくいただきました。私にとって餅つき大会は初めてでしたが、ご利用者の楽しそうな笑顔を見て、また来年も出来れば良いなと思います。（後ノ上）

けやきユニット
宇都宮動物園旅行

十一月二十三日けやきの皆さんで旅行に出かけました。旅行先では皆さんの様々な笑顔が見られました。まず初めにスタミナ太郎での食事の際、おいしそうな食べ物を沢山見た時の嬉しそうな笑顔、お腹いっぱい食べて満足そうにされている笑顔、宇都宮動物園についてからは、動物たちを見ている温かい笑顔、乗り物に乗られはしゃいでいる笑顔と、他にも普段とは違う沢山の表情を見ることが出来ました。皆さんの笑顔で支援員にとっても楽しい旅行になり、よかったです。また色々な所に出かけて一緒に笑い、お互いの新しい一面を見つけられたらと思います。（磯部）

ミニファーム班

春から育ててきた「椎茸」が初冬に収穫できました。試食会ではオカワリの声も多く、努力の実りも味わいました。沢山の方の手元に届くよう来年度もミニファーム班一同、活動に励みたいと思います。（皆川）

菓子工房班
ヤクルト工場見学

十二月八日に五霞町のヤクルト工場の見学に行きました。そこでは働く職員全員が白衣を着ており、てきぱきと作業していました。今回の見学の中からご利用者にとって何かひとつでも感じる物が出来たら良いなと思いながら、これからも一緒に学んで行きたいと思います。（佐々木）

お知らせ

ご利用者用のパソコンを設置することになりました。パソコンを通して新しいかたちで社会との交流をはかり、楽しくご活用下さい。

日々の喜び

活動班で、散歩に行った時の事。寒い日だったので「手を元気に振って、歩きましょう」と支援員が声をかけました。すると、一人のご利用者が右手を高く上げて、支援員に手を振りながら、歩き始めました。同じ手を振るでもいろいろな意味があるのだなと思いました。とても可愛らしく、微笑ましい光景でした。

毎日の活動班の中で、笑顔や癒しがあることは、素晴らしいと思います。

これからの季節、散歩日和となりますので、たくさん出て行きたいと思います。（山崎）

✍編集後記／年末に、ご利用者と椎茸でＢＢＱを楽しみました。「おいしい！」とみんな喜んでいました。いつの日か、大収穫を。